



2019年5月15日

各 位

会 社 名 リズム時計工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 平田 博美  
(コード番号 7769 東証第一部)  
問合せ先 執行役員管理本部長 荒井 雄司  
(TEL 048-643-7241)

## 2019年3月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2019年3月期におきまして、下記の通り2019年3月14日に公表いたしました2019年3月期通期業績予想と本日公表いたしました実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2019年3月期通期業績予想と実績値との差異（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	31,500	700	900	△150	△18.16
実績値 (B)	31,016	761	913	△264	△31.99
増減額 (B-A)	△483	61	13	△114	
増減率 (%)	△1.5	8.8	1.5	—	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	31,516	844	980	180	20.18

※A：2019年3月14日公表値

#### 2. 差異の理由

売上高につきましては、時計事業における、国内のクロック市場の縮小及び量販店での売上減少が想定以上に大きかったこと、接続端子事業ならびに電子事業につきましては、市場の急激な変化に伴い受注が停滞したことにより、予想を下回る結果となりました。

営業利益につきましては、接続端子事業においては上記売上の影響を受け減少しましたが、電子事業において収益性の高い製品の販売が好調だったことに加え、全事業で費用の削減に取り組んだことにより、予想を上回る結果となりました。

経常利益につきましては、支払利息の増加や為替の影響等はありませんでしたが、営業利益の増加により、予想を上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別調査委員会による調査費用、会計監査人の追加的手続きを受けたことによる費用等及び固定資産の減損処理等で見込んでおりました費用(特別損失)が6億円に対し6億43百万円に増加したこと、投資有価証券の評価損(特別損失)が見込んでおりました43百万円に対し1億2百万円に増加した影響等もあり、予想を下回る結果となりました。

以上